

～～第7993回～～

編笠山・権現岳

～H28. 8. 7-8～

今年の葵支部の夏山はテント山行で、自炊を楽しむというグレードの高い企画で、他支部からの助っ人2名が加わって、7名で静岡駅前を出発。観音平では車が満杯で第2駐車場に停めた。テントと食料を分担し、青年小屋を目指し、樹林帯を歩き始める。雲海、押手川分岐点まではコースタイムどおりに到着。しかしここからが長かった。所々に急登があり倍以上の時間がかかって青年小屋に辿り着いた。「遠い居酒屋」と書いてある大きな赤提灯が迎えてくれる。女性3人は素泊まりで、あとの4人は幕営。テント場は小屋の裏側で、まだ誰もいない。編笠山に未登頂の4人は編笠山へ。留守番隊は食事の準備に入る。水場（乙女の泉）も近い。全員揃って早めの夕食。塩鶏、刺身ヅケ、ハムステーキ、焼きそば等々で賑やかに楽しんでいたら、ポツリと冷たい雫。一瞬の間に大雨となりテントに避難。1時間くらいで止んで、夜は満天の星が出ていた。テントは全部で3張りだった。

二日目、朝4時起床。ご飯を炊き、ベーコン炒めと豚汁で朝食。残ったご飯をおにぎりにして権現岳に出発。昨日とうって変わって荷物は軽い。針葉樹林帯を抜けると、のろし場の展望台に着いた。正面に西ギボシの岸壁を間近に望む。振り返ると北、中央、南アルプス、富士山などの大展望が広がる。岩稜帯を必死に登り終え、その先は立って歩けないほどの強風のなか東ギボシ頂上に着いた。小さな石像が2体祀られており無事登頂出来たことに手を合わせ記念写真。ちょっと腹ごしらえをして、権現岳に向かう。権現岳は鋭い岩肌の山だが、巻き道から登頂。頂上の反対側は断崖絶壁で早々に下山。慎重に來た道をくだる。オトギリソウの絨毯に出迎えられ青年小屋のテント場着。テントを撤収して、また重い荷物を背負って、観音平に戻った。帰路の途中、温泉で体を癒し、静岡駅に着く。今回は幕営で荷物の負担が多く大変でした。

参加者：7名（静岡葵5、静岡西1、磐田1）

天 候：①曇り時々晴れ ②晴れ

地 図：八ヶ岳西部・小淵沢

コースタイム：静岡駅前 600＝八ヶ岳 PA＝小淵沢 IC＝観音平 900-20…雲海 1020…押手川分岐 1125…青年小屋 1335（泊）635…のろし場 710…東ギボシ 800-20…権現小屋 830…権現岳 840-45…のろし場 940…青年小屋 1005-55…押手川分岐 1215…雲海 1308…観音平 1350-1400＝小淵沢 IC＝増穂 IC＝つむぎの湯 1515-1600＝新東名＝静岡駅前 1800

青年小屋素泊まり 5500 円（2 食付き 8500 円）テント泊り 1 人 600 円

つむぎの湯（三郷町）3 時間 400 円

記録：静岡葵支部 C・M



編笠山から見た、青年小屋、ギボシ、権現岳



青年小屋テント場